

医療費助成中学卒業まで

一般会計789億円、5%増

厚木市の新年度予算案を審議する2月議会が、3月3日から3月25日までの23日間で開催されます。

法人税、大企業が

新年度予算は一般会計で789億2千万円。特別会計と合わせて1273億2467万円（前年比1・8%増）です。

歳入では、市民税のうち法人市民税が「大企業中心に業績が回復（市長施政方針）」として、昨年比17・5%増の46億4050万円を計上しています。市民税全体では185億7355万円（1・9%のアップ）です。

国庫支出金は、子ども手当、生活保護費の増で27%も増えました。

民生費の比率35・9%に教育費は前年比17・2%減

歳出では、単年度ごとに事業を見ると増減が著しいのですが、長いスパンでの検証が必要です。

教育費は南毛利中北棟校舎の建て替え、毛利台小給食調理施設、及川球技場の改修など大きな事業が終わったので大幅に減りました。民生費は子ども手当、生活保護費、子ども医療費助成の拡大などで24億円の増額です。

商工費は中小企業融資預託金が8億円増えたことにより、21%も前年より多くなっています。

今週の活動から



2月26日、厚木市文化会館で、日本共産党厚木市後援会の春のつどいが行われました。県知事選予定候補のかまい洋子さん（中央）も挨拶しました。（右：釘丸久子議員、左：栗山香代子議員）

2月議会の予定

- 3月3日（木） 本会議
4日（金） 本会議
9日（水） 一般質問（第1日）
10日（木） 一般質問（第2日）
11日（金） 一般質問（第3日）
14日（月） 総務企画常任委員会
15日（火） 市民福祉常任委員会
16日（水） 環境教育常任委員会
17日（木） 都市経済常任委員会
18日（金） 常任委員会予備日
25日（金） 議会運営委・本会議
時間は、午前9時から
ぜひ、傍聴においでください。

平成23年度予算案（前年比増減 △減額）

一般会計	789億2000万円（37億4000万円）
公共用地取得	3億8091万円（△27億8554万円）
後期高齢者医療	16億300万円（2700万円）
国民健康保険	234億8100万円（6億5100万円）
介護保険	84億8000万円（3億2200万円）
交通災害共済	1700万円（△1717万円）
公共下水道	56億4000万円（△2億7100万円）
病院事業	88億8475万円（△7億8125万円）
合 計	1273億2467万円（22億2351万円）

医療費助成中学校卒業までに

子ども医療費助成事業は、小学校卒業までのものが、中学校卒業までに拡大します。県内の市では海老名に次いで2番目です。今年7月1日からの実施予定。総予算で7億9710万円。

住宅リフォーム助成が実現

党議員団が要求していた住宅リフォーム助成制度が始まります。

予算は1300万円、10万円以上のリフォームに一律5万円の補助を行います。制度発足後、周知期間をいって6～7月ごろに募集がされる予定です。

マイホーム取得助成事業は、定住促進ということで、住宅を新たに取得した方に助成します。年末の住宅ローン残高の1%、上限12万円が3年間交付します。

「厚木の元氣実感予算」で市民は「元氣」になるか

新年度の予算編成では、「事業の業務委託や民営化の推進」「職員給与や物件費の削減」で経費の削減を行っています。

市身体障害者生活介護事業、民間施設デイサービス事業、市障害者地域作業所を民営化します。

業務委託するのは、南部給食センター、中央図書館窓口業務、粗大ごみ受付業務、衛生プラント運転業務などです。

安易な民営化や業務委託、職員の削減が、市民サービスの向上につながるか疑問が残ります。

平成23年度予算案 主な目的別歳出

費目（款）	平成23年度	平成22年度	比較増減	構成比	
				23年度	22年度
民生費	283億0785万円	258億8368万円	24億2416万円	35.9	34.4
衛生費	107億0267万円	87億8862万円	19億1404万円	13.6	11.7
土木費	91億7326万円	94億7835万円	△3億0508万円	11.6	12.6
教育費	65億8128万円	78億2231万円	△13億4102万円	8.3	10.5